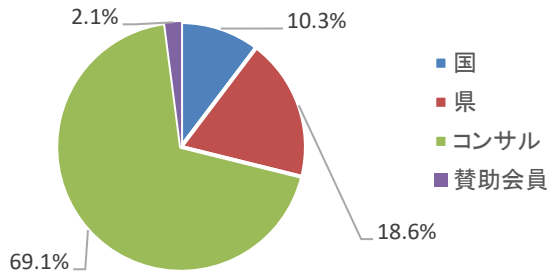


アンケート結果

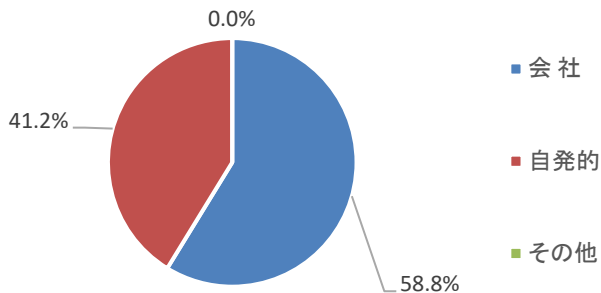
(R5.4.25「令和5年度 技術講演会」)

出席	127 名
回答	97

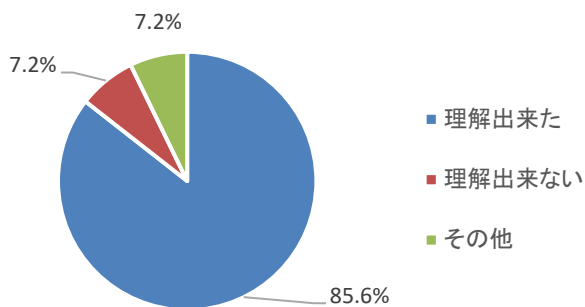
1. 所属についてお知らせください。



2. 参加のきっかけをお知らせください。



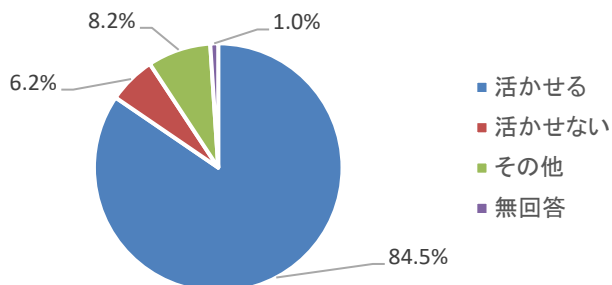
3. 講演会の所感



その他

- ・ 理解出来た部分が殆どであるが、勉強不足でわからない点もあった。
- ・ 今の業務で具体的な取組事例がない為、理解し難い部分があった。
- ・ 部分的にはよく理解できた。
- ・ 難しいが、これからは理解して動くようにしたい。
- ・ 概要的なものは理解できたが、実務者レベルでの問題点等は理解できなかった
- ・ 流れはある程度理解できた。

4. 今回の内容を今後の業務に活かしますか。



その他

- ・ 参考
- ・ やって見ないと分からない部分が多いためよくわからない。
- ・ 普及に向けて課題がある。(設計と施工)
- ・ まだ学習の段階です。
- ・ 活かさなければならない。2次元でなく、3次元で測量・設計を行う。
- ・ 将来的には活かさざるを得なくなると考える。
- ・ 現段階ではわかりません。
- ・ 今すぐには無理

5. 今回の講演会について、自由に記載してください。

- ・ BIM/CIM全面活用は正直まだ課題があり、時間がかかると思った。しかし、積算を行うにおいて、標準歩掛が近々出来るとかなり楽になるのではないかと思います。
- ・ 基本的にはコンサル、施工業者がどこまで対応できて、それに対してどう進めていくかを国で考えることになるのかと思いました。まだ時間はかかるとはありますが、コンサル、施工業者と同じで出来ることをやりつつ、経験を積んでいこうかと思います。
- ・ 国の見解、県の見解、コンサル協会の見解を聞くことができて大変興味深かった。
- ・ 良い機会でした。
- ・ 開催時期が悪い。4月着任した人の講演はもっと年度後半がよい。
- ・ 役所の人の講演はネットで入手できるので不要。各企業の取組事例がよい。(出せる範囲で)
- ・ 検討委員会の報告は役に立つ。今回は1班だが、3班くらいあってもよい。
- ・ 大変よい機となりました。
- ・ BIM/CIMについて、メリット・デメリット、それについての改善について詳しく知れた。「新しい事をする」というのはたくさんの障害があるけれど、是非土木業界の改革になるよう応援協力したい。
- ・ 3次元データをまともに扱えない県の担当者にとっては、問題の根本を理解することは難しいが、今日講演を通じて得た情報、取組事例を業務の効率化を念頭に今後の業務で活用できるよう取り組みたい。
- ・ 3DCADの互換性に課題があると分かった。
- ・ まずは設計レベルでのCIM、施工レベルでのCIMの対応をしていきたい。
- ・ 直轄事業の取組みについて現状を確認することができた。
- ・ 国と県でBIM/CIMの取組への進捗に乖離があると感じた。工事の施工規模等から、到底県は国のレベルに追いつけないのではないかと。
- ・ 3D施工、ICT施工は進め、効率化は図るが、国と県の着地点は違うのではないと思う。
- ・ 建設業界の3次元化が急がれる中で、鳥取県での課題を理解できた。今後は行政としてロードマップを作成し、コンサルさんと協力して業務を行うことが使命だと感じた。
- ・ BIM/CIM・ICTの工事への活用について、ほぼ知識が無かったが、活用例等より、どこに活用出来るか知ることができたので今後、少しずつでも仕事に活かしていきたい。
- ・ 今後進もうとしている方向は理解できた。
- ・ 施工業者がついてこれられないのではないかと感じた。
- ・ ECT方式は割と良い方法と思うが、用地補償、相手方との交渉をどのタイミングで行うのか要検討と思われる。
- ・ BIM/CIMを活用することでのメリットが知りたい。
- ・ BIM/CIMを活用することでかかる費用(予算)の確保(※予算要求など)はどのようにして対応されているのか。
- ・ 現地形(木が生えた状態)で精度の高い3次元データが作れませんか？
- ・ BIM/CIMの動きがわかりました。
- ・ 業務(目的物完成)の効率化に繋がっていくことが大切だと思いました。
- ・ BIM/CIMに未来を感じました。(いろいろな意味で)
- ・ 国・県の進め方を都度知りたい。(市町村も)
- ・ 今回の講演会の内容を会社の皆に講習会を開くのですが、まだ学習段階で説明できない為困っているところです。
- ・ 将来的にBIM/CIMを活用して本格的な業務が始まると考えられるため、今回の講演会は非常に参考になりました。
- ・ 今後とも業界の発展に向けてよろしくお願いします。
- ・ 県の今後のBIM/CIM実施要領案やガイドラインを検討するとの事でしたが、県で一方的に作成するのではなく、コンサルタントの意見も取り入れて作成して欲しい。
- ・ コンサルタントとしての能力が必要になると思う。
- ・ BIM活用に関する基本的な考え方を理解することが出来た。
- ・ この度は貴重なご講演有難うございました。ソフトの互換性や中小規模の道路では変化点が多くなり複雑になってしまうことなど課題点があることが理解できました。課題解決には時間がかかるとはありますが、技術者としては今はスキルを上げることを目標に頑張っていきたいと思います。
- ・ 継続して開催して欲しい。
- ・ BIM/CIMの今後の方向性や展望について知ることが出来、勉強になりました。
- ・ タイムリーな議題でとても勉強になりました。
- ・ BIM/CIMのリーダー的な国交省の方の話をもっと聞きたかったです。

- ・ 過年度に設計した現場で、3次元測量等を取り入れている現場から問い合わせがある場面があるがどのような流れで作業が進められているのかイメージすることができて良かった。
- ・ 非常に良い内容であった。業界全体のBIM/CIMのレベルアップに結びつくと思う。
- ・ 丁度いいボリュームだった。
- ・ BIM/CIMの現状(設計段階と施工段階だけでも問題多)がよくわかった。次の維持管理段階での活用を考えると気が遠くなる感じ。
- ・ 鳥取県のフロントローディングの取組、考え方を国交省の講演の後で聞くことができ、とても聞き易い講演だった。作業の手間は増えるかもしれないが、BIM/CIMに少しずつでも取り組めるように設備導入や人材育成を進めていく必要性を感じました。
- ・ BIM/CIMの取組が出来る企業は、人員、規模等で優位にある所が出来るのだろうと思ってしまった。若い人が取組み易いのだろうが、仕事のメイン層の30～50代の人間は取組が難しいと思う。
- ・ ECI方式がBIM/CIMの1つの着地点とすれば、コンサルも土木工事に精通しなければならぬ。

6. 今後、講演会等開催を希望する事項をお聞かせください。

- ・ 他事務所などの経験、課題などの情報共有
- ・ いろんな検討委員会が活動報告してはどうか。
- ・ 鳥取県以外の支店・営業所(検討委員会のようなもの)からの情報提供
- ・ 施工側の意見を聞いておられたら資料に追加してほしい
- ・ 施工側も出席してほしい
- ・ 若手技術者育成
- ・ 建設業界の魅力発信
- ・ 最新技術について
- ・ まだ始まった段階です。会社の皆が年寄りばかりなので(私もですが)、3Dに積極的でないのが心配ですので、講習会に皆が参加できるように何度も開催していただきたい。
- ・ 4～5月開催
- ・ 構築段階の会社も多いと思います。実施した業務発表をお願いしたい。
- ・ 情報共有システムについて
- ・ 自動設計について
- ・ 見積り対応に苦勞することが多いので、事例を具体的に知りたい。
- ・ 実際にICTを実践している施工業者さんの見解も聞けたらと思う。
- ・ ICT施工の場合、測量・設計と施工との一連となる講習があると設計後の使用方法が分かる。(施工での使用と成果など) ※BIM/CIMとICT施工(フロントローディング)は分けて講習してほしい。
- ・ やはり、Webによる開催も考えてほしい。